



Plus RMA



第5号 2021/4/1
一般社団法人 RMA

* CONTENTS *

- * 新年度を迎えて..... 井口 新一 2
- * 薄い信頼関係とイノベーション..... 宮川 雅明 4
- * 新型コロナウイルス核酸検査に関する国際規格..... 関 顯 6
- * 自宅で快適なネット環境を構築しよう!.....カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社
小林 慎士 様 8
- * RMA2021 年度セミナー開催予定表 11
- * 事務局だより 13

新年度を迎えて

一般社団法人 RMA 代表理事
井口 新一

会員の皆様におかれましては、平素よりRMAの活動に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがたく深く感謝いたしております。

1. 昨年度をふりかえって

昨年度は、新型コロナウイルスCOVID-19の感染拡大がすべてを埋め尽くし、RMAはもとより社会全体の活動が大きく制約を受けた年度でした。この制約のなかで会員の皆様も、毎日の業務遂行方法の検討や業務体制の再構築などに知恵をしぼり、議論を深められた日々がつづいたのではないかと推察いたします。

RMAでは、公開セミナー等の開催予定全件数の約42%にあたる26件のセミナー等の開催を中止しました。数少ないながらも開催できた対面型セミナーでは、受講者上限数を半数におさえ、3密を回避するなどの対策をとって実施させていただきました。

10月からはZoomによるオンラインセミナーを少しずつ開始いたしましたが、Zoom操作に不慣れなことやオンラインで効果的に情報を伝達するためのコミュニケーション能力の観点から課題を多く感じた時期でもありました。

また、会員の皆様のご協力を得て長年続けてきた試験所見学会が一度も開催できなかったことは、やむを

えなかったといはいうものの、今でも残念さが残っております。

2. 今年度の活動

今年度もCOVID-19からの完全開放を期待することはできないと思われます。しかし、「ウイズコロナ」と呼ばれる時代にあっても、昨年度の経験を糧に会員の皆様にISO/IEC 17025やISO 15189などの規格を中心に、ISO適合性評価を活用するための良質な情報を提供してまいります。

この活動の基盤は、RMAのミッション「信頼性マーケティングの推進」にあります。

第三者の目で評価された組織構造と業務遂行の信頼を強みとして、自身のアウトプットに対して常に説明できる体制と能力を維持し、その結果として市場(マーケット)から信頼され、ビジネスの地歩を硬め、ビジネスを拡大していく。

RMAはこのミッションを実現すべく今年度もサービスの拡充をおこないます。

先ず今年度は、オンラインセミナーの機会を大幅に増加させます。

セミナーは、規格解説セミナー、内部監査員養成セミナー、マネジメントセミナー、食品・微生物関連セミナ

一、臨床検査分野セミナー、試験技術セミナー、プチセミナー、プレミアムセミナーに区分し総数で63回のオンラインセミナー開催を計画しています。

このオンラインセミナーでは、Zoom Meetingを使用しておこないます。Webinarを使用する方法もありますが、RMAのセミナーでは、セミナー内容の理解を高めていただくためにも、口頭で講師との質疑応答が適宜実施できる環境を確保しておきたいと考え、Zoom Meetingを採用しています。

一方、従来 of 対面型のセミナー開催数は、現時点での感染拡大状況を勘案し昨年来の感染防止対策を継続しつつも総計25セミナーに限定いたしました。

対面セミナーにはオンラインセミナーとは異なる利点があるもことを十分承知していますが、今年度はオンラインセミナーに重点をおき、対面セミナー数の追加開催は慎重に対応していきたいと考えています。

今年度のオンラインセミナーと対面セミナーの開催予定は、RMAホームページに掲載しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。

今年度も試験所見学会の開催は残念ながら見送らせていただきます。開催ができる状況になりましたら、改めて会員皆様のご協力をお願いして再開したいと思っております。その折には、会員皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、本年度も皆様のますますの業容拡大と発展を心より祈念しております。



薄い信頼関係とイノベーション

一般社団法人 RMA 理事
英国国立ウェールズ大学トリニティセントデイビッド(UWTSD) 大学院特定教授
経営コンサルティング会社代表取締役
宮川雅明

これまで信頼が如何に重要であるかについて述べてきた。逆に、信頼関係が薄いことによるメリットはないのかについて考えてみたい。

Strength of Weak Ties (SWT 理論)

今やネットの時代である。地震による安否確認、感染者との接触などスマホでネット確認が日常である。大学院の学生は、スマホでレポートを作成し送信してくる。デジタル・ネイティブは生活様式が異なるようである。

SNS の世界ではあっという間に情報が拡散する。では、あっという間に拡散しない集団構造とは何か。

人と人との関係が強い場合、情報は特定の集団の中で完結する。強い関係の集団は、価値観も行動様式も似通っている。“この情報知っている?” “ああ、見たよ”という関係だ。価値観、興味領域、仕事との関係などで強い関係の人々は、ラインで繋がっていても知り合う確率が高い。似たもの同士なので親近感を持つ。敢えて知り合う場を求めなくても良い。このような濃い関係、強い繋がりを Dense Network という。

では、弱い関係とは何か。例えば、AさんとBさんが知り合い程度だとする。AさんとCさんも知り合い程度だとする。先ほどの強い関係と比較すると、BさんとCさんが知り合う確率は低くなる。

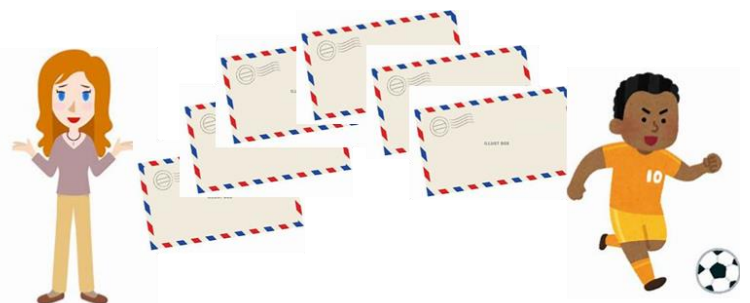
しかし、弱い関係だからこそ広がりがある。強い関係

は完結性があり広がりを見せない。むしろ排他する可能性が高い。そして、同じ情報がぐるぐると回る。それも似た様な情報である。情報伝達の効率に無駄が生じる。

一方、弱い関係の場合、“こんなことを知っている?” “へえ、知らなかった”となる。そして、他者にも伝えようとする。弱い関係だからこそ、広く早く伝播するのである。これを Strength of Weak Ties という。(注1)

Six Degrees of Separation (6 次の隔たり)

ある実験が行われた。面識のない任意の2名が、相手に届くように手紙を送るというものだ。今でいうチェーン・メールのようなものだ。面識がないので、届きそうだと思う近しい人に連絡をする。それは、ちょっとした知り合いだ。深い関係でもない。友達の友達みたいなものだ。すると、平均で、6人を経由すれば届くことが分かった。つまり、6人経由すれば2億人の米国民は全て繋がることになる。(注2)



Facebook による2つの発見

2012年、340万の観測データを解析する研究が行われた。そこで2つの発見があった。一つは、頻繁に交流する友達が発信する情報をシェアする傾向がある。二つ目は、友達の友達がシェアする確率は、頻繁に交流している場合と比べ、殆ど交流のない場合の方がはるかに多いというものだ。シェアの連鎖である。(注3)

この現象を Small World という。あつという間に情報が共有される時代である。それは政治や経済にも強く影響を与えている。アラブの春などはその典型ともいえるのではないか。

オープン・イノベーションの時代

オープン・イノベーションは2003年に発表された。その後、2006年、2011年には、サービス・イノベーションとして進化している。(注4)

IT系に限らず、多くのイノベーションは、このオープン・イノベーションが主軸(コア・エンジン)となっている。一方、日本の経営は、自前主義が多いように思われる。先ほどのネットワークでいうなら、村社会といえる。狭い世界しか見ていないのでイノベーションが起きにくい。イノベーションとは新結合(New Combinations)と定義されている。既存知と既存知の新たな組み合わせだ。(注5)

Dense Network(濃い関係)では、新たな既存知とはなかなか出会わない。かつてガラパゴスという表現があったが、それは今でも文化として無意識の習慣として続いているように思える。

(注1) 米国の社会学者 Mark Granovetter (マーク・グラノヴェッター) が1973年に提唱した概念。

(注2) 1967年、米国の心理学者 Stanley Milgram (スタンレー・ミルグラム) が行ったスモール・ワールド実験の一つ。

(注3) Eytan Bakshy 博士による実証研究。

(注4) Henry Chesbrough 博士が提唱した概念。2003年は欠けたピースを埋めるものであった。つまり技術オリエンテッドであった。2006年は市場オリエンテッドに進化し、2011年にはサービス・オリエンテッドになる。サービス化の時代を象徴する理論といえる。

(注5) Joseph Schumpeter (ヨーゼフ・シュンペーター) が1912年「経済発展の理論」で提唱した概念。

新型コロナウイルス核酸検査に関する国際規格

一般社団法人RMA理事
ISO/TC212国内検討委員会委員
関 顯

2019年末に中国で確認されたSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)感染は全世界に拡散し、2020年3月11日にWHOは、パンデミックを宣言した。国内においては2020年4月7日に政府が緊急事態宣言を発出した。パンデミックは1年以上続き、最近では感染力の強い変異ウイルスの感染拡大が新たな脅威となっている。

厚生労働省はPCR法(polymerase chain reaction)を含めた核酸増幅法によるSARS-CoV-2 RNAウイルスのPCR検査体制を構築するため、検査の保険適用、対外医薬品の緊急承認などの対策をしてきた。SARS-CoV-2のウイルスRNAを検出するPCR検査における精度の確保を適切に実施することは、感染が疑わしい患者の早期診断・治療とともに地域の流行状況を把握し、感染拡大防止を行う上で非常に重要である。

核酸増幅法によるSARS-CoV-2検出の品質規範の審議

2020年に中国からの新型コロナウイルス検査標準化についての規格提案を契機としてISO/TC 212/WG4とISO/TC 276 (Biotechnology) /WG3 (分析手法)とで合同作業グループISO/TC 212/JWG6が設置され、技術仕様書 ISO TS 5798「核酸増幅法による急性呼吸器症候群コロナウイルス2 (SARS-CoV-2) 検出に関する品質規範」の開発を目

指し審議が開始された。コンビーナは、Dr. Uwe Oelmüller (ドイツ国)、プロジェクト・リーダーはYin Ye (中国)、宮地勇人(東海大)である。本規格審議活動に対応して国内では、ISO/TC 212国内検討委員会とISO/TC 276国内審議委員会とで新たにISO/TC 212/JWG6国内審議委員会が設置された。JWG6国内審議委員会は、関連学会、試薬、装置、機材関係団体から選出された専門家から構成され、オブザーバーにJISC(日本産業標準調査会)とPMDA(医薬品医療機器総合機構)が加わり2021年11月の規格発行を目指し、国内の意見を収集している。新型コロナウイルス感染症において本規格は、SARS-CoV-2検査の技術仕様書として有用性が期待できる。

ISO 15189の改訂の方向性

改訂は、基本的な構造をISO/IEC 17025:2017「試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項」に合わせ、ISO 9001:2015「品質マネジメントシステム-要求事項」のリスクに基づく考え方を本規格に導入している。サポート文書には、ISO 15190、ISO 22367およびSARS-COV-2検出との関係で非常に重要なバイオリスク・マネジメントに関する規格ISO 35001がある。また、POCT(Point of Care Testing)に関する規格ISO/TS 22583がある。いずれも改訂ISO 15189における品質マネジメントシステム構築において重要な

文書である。さらにISO 20658「臨床検査室－検体の収集、搬送、受領と取扱いに関する要求事項」も臨床検査室の品質・精度の確保に有用な規格である。

現在、2回目のCD（委員会原案）投票期間が終了

し、多数寄せられたコメント内容をISO/TC 212内で検討中である。2021年10月には次の段階のDIS（国際規格案）投票、2022年1月にはFDIS（最終国際規格案）投票と審議を進め、2023年3までのIS（国際規格）発行を目指して改訂作業が進められている。

改訂ISO 15189のサポート規格

文書番号	英語規格名称	ISO/TC212国内検討委員会が推奨する名称
ISO/IEC 17025	General requirements for the competence of testing and calibration laboratories	試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
ISO 15190	Medical laboratories – Requirements for safety	臨床検査室－安全に関する要求事項
ISO 22367	Medical laboratories – Application of risk management to medical laboratories	臨床検査室－臨床検査室に対するリスク・マネジメントの適用
ISO 35001	Biorisk management for laboratories and other related organizations	試験所及び関連組織のバイオリスク・マネジメントの要求事項
ISO/TS 22583	Guidance for supervisors and operators of point-of-care testing (POCT) devices	POCT機器の監督者と操作者に対するガイダンス
ISO 20658	Medical laboratories – Requirements for collection, transport, receipt, and handling of samples	臨床検査－検体の収集、搬送、受領と取扱いに関する要求事項

参考資料：日本臨床検査標準協議会．日本臨床検査標準協議会会誌35巻．1号．2020年．

自宅で快適なネット環境を構築しよう！

カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社
小林 慎士

コロナ禍でテレワークが急激に増加し、オンライン会議やオンラインセミナー参加してみたら、映像の動きが遅い・カクつく、音声途切れるなど、回線品質が不安定だったりすることはありませんか？

ウェブサイトの閲覧では気にならなかったけど、急に調子が悪くなったと感じている、なんて相談を良く受けます。

こんなときは、自宅の通信環境を見直してみるとあっさり改善することもありますので、見直しておきたいポイントを3つご紹介します。

特にネット環境を構築して何年もそのまま放置している方にはおすすめの内容です。

まずは通信速度を測ってみよう

googleの検索欄に「internet speed test」と入力して検索すると、「インターネット速度テスト」という結果が出てきますので「速度テストを実行」ボタンを押してみてください。ダウンロードとアップロードの数値があり、一般的に、ストレスなく通信できるのは5Mbps~30Mbps程度と言われています。

注意したいのが、毎回同じ数値になるとは限りませんので、時間帯毎に複数回測定してください。



インターネット速度テスト結果例

自宅の環境によっては、時間帯によって数値が変わりますので、不安定と感じる場合に計測してみると、いつもよりもスピードが出ていないことが分かるかもしれません。

快適なスピードが出ているにも限らず不安定

あまりこういうケースはありませんが、端末のスペック不足やご利用のアプリに問題があるかもしれません。アプリの再インストールで解決することもあります。色々な要因が考えられますので、PC関係に詳しい方に相談してみてください。

快適なスピードが出ていない・計測毎に大きなばらつきがある

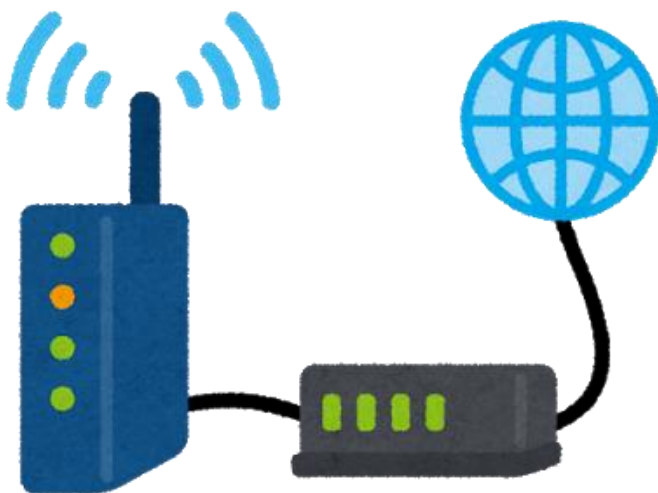
見直しポイント① Wi-Fiルーター

ほとんどの方がWi-Fiルーターを設置し、複数台の端末をネット接続していると思いますが、スマートフォン、タブレット、テレビ、ゲーム機、PCなどなど、今は何でもネット接続する時代ですから、どうしても接続台数が増えていきます。古いWi-Fiルーターでは最大接続台数が10台などの機種もあり、家族で利用しているとあっという間に最大数を超えてしまいます。

また、近所の無線や自宅の家電などの電波干渉により、通信が不安定になっている可能性がありますので、スペックの確認や、手動でチャンネルを変更して改善するか試してみてください。

そして、意外と知られていないのですが、Wi-Fiルーターの本体寿命は、おおよそ4~5年とされていますので、急に調子が悪くなったりしたときは、寿命が近づいているかもしれません。

買ったままずっと放置している方は、最新のファームウェアを適用し、これらを見直してみましよう。



見直しポイント② 中継器の利用

Wi-Fiルーターが電波を届けられる距離には限界があり、壁や扉などの障害物を通ることで電波は弱まってしまう。Wi-Fi中継器があることで、Wi-Fiルーター単体では届けられないところにまで電波を届けられるようになります。Wi-Fiルーターが家の1階にあり、2階や3階の部屋まで電波が届きにくいというような場合に役立ちます。

中継器を利用することで全体に電波を届けることができたとしても、全体の通信速度は落ちることがありますので、状況によってはルーターを買い替えたほうが良い事もあります。

手軽に導入できるメリットがありますので、状況に合わせて判断してみてください。

見直しポイント③ プロバイダやインターネット接続プランを見直す

電波に問題がないようであれば、回線そのものや、プロバイダから提供されている機器自体に不具合があったり、プランが合っていないのかもしれません。

一度ご利用のプロバイダ等に相談してみると良いですね。その際、「インターネット速度テスト」での結果があると状況が伝えやすくなります。

いざというときに備えて

ネットが急に調子が悪くなってしまったけど、どうしても接続が必要だという場合は、スマートフォンをアクセスポイントとして使うテザリングという方法があります。

ご利用の携帯電話プランによっては使えなかったり、通信料がかかりますので事前に確認しておいてください。

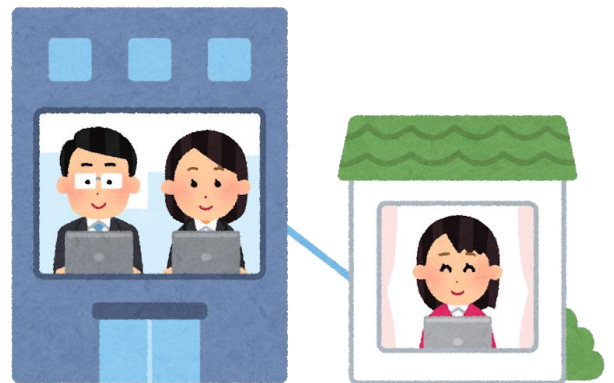
いざというときのために覚えておいて損はしません！

快適な環境を手に入れたら、さらにセキュリティに注意を

サクサクと動くようになって色々なサイトにアクセスしていると、意図せず悪質なサイトに出くわすこともあります。そんな時のために、OSやアプリのアップデート、セキュリティソフトをお使いの方は常に最新にして、パソコン内のウイルスチェックも定期的に行ってシステムを最新版にしておくことを心がけてください。

ただし、情報漏洩に関しては、ほとんどが設定や管理ミスによる人為的なものですので、テレワークで使用する

パソコン等は、できる限り他人と共有して使わないようにしたり、共有で使わざるを得ない場合は、業務用のユーザーアカウントを別途作成するなど、その他、出来る限りのセキュリティ対策を心がけ、安全なテレワークライフを送ってください。



小林慎士さん プロフィール

◆ ITコンサルタント、プロジェクトマネージャー ◆

企業の課題を解決するためのIT戦略策定、システム開発の提案やシステムの最適化をされています。また、プロジェクトの進捗管理や運用テストまで、プロジェクト全体を管理する業務も遂行されています。

勤務先：カタナ・パフォーマンス・コンサルティング 株式会社
(略称：KPCI)

RMA 2021年度 対面型セミナー 開催予定表

No.	対面型セミナー ※コロナウイルス感染症の影響でセミナー日程が変更になる場合がございます。	会場	受講料 (消費税込)		2021年度											
					2021年						2022年					
					上期						下期					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
規格解説セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第60回 ISO/IEC 17025:2017 規格解釈と運用セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000				7/1								
2	第61回 ISO/IEC 17025:2017 規格解釈と運用セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000							10/1					
3	第62回 ISO/IEC 17025:2017 規格解釈と運用セミナー(大阪)	大阪	¥22,000	¥44,000								11/2				
4	第63回 ISO/IEC 17025:2017 規格解釈と運用セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000										1/14		
内部監査員養成セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	第84回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥44,000	¥88,000			6/17 18									
6	第85回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥44,000	¥88,000				7/21 22								
7	第86回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥44,000	¥88,000						9/7 8						
8	第87回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥44,000	¥88,000							10/19 20					
9	第88回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(大阪)	大阪	¥44,000	¥88,000								11/18 19				
10	第89回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥44,000	¥88,000									12/2 3			
11	第90回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥44,000	¥88,000											2/3 4	
12	第91回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(二日)(東京)	東京	¥44,000	¥88,000												3/1 2
マネジメントセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	第17回 ISO/IEC 17025:2017 リスク・マネジメントセミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000						9/29						
14	第18回 ISO/IEC 17025:2017 リスク・マネジメントセミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000												3/4
15	第1回 ISOマネジメントシステムの基礎(半日)(東京)	東京	¥11,000	¥22,000				8/26								
16	第2回 ISOマネジメントシステムの基礎(半日)(東京)	東京	¥11,000	¥22,000											2/17	
不確かさセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	2021年版 不確かさにおける基礎から応用までセミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000			6/25									
18	2021年版 不確かさにおける基礎から応用までセミナー(大阪)	大阪	¥22,000	¥44,000				7/9								
19	第6回 基本モデル事例で理解する不確かさ演習セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000									12/14			
食品・微生物分野セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	第15回 食品・生物系試験所のための内部監査員養成セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000					8/27							
21	第16回 食品・生物系試験所のための内部監査員養成セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000											2/25	
臨床検査分野セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	第21回 よく分かるISO 15189 規格解釈セミナー(東京)	東京	¥22,000	¥44,000						9/28						
23	第7回 臨床検査室のための内部監査員養成セミナー 入門編(東京)	東京	¥22,000	¥44,000							10/27					
ブチセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	第27回ブチ・セミナー「ISOと製品認証」	東京	¥7,700	¥15,400				7/16								
25	第28回ブチ・セミナー「ISOと製品認証」	東京	¥7,700	¥15,400								11/26				

RMA 2021年度 オンラインセミナー 開催予定表

No.	オンラインセミナー	会場	受講料 (消費税込)		2021年度											
					2021年						2022年					
					上期			下期			上期			下期		
会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
規格解説セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第3回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/20											
2	第4回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/13										
3	第5回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/8									
4	第6回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/7								
5	第7回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/19							
6	第8回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/16						
7	第9回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							●					
8	第10回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000								●				
9	第11回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000									●			
10	第12回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										●		
11	第13回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											●	
12	第14回 ISO/IEC 17025:2017 規格解説と運用ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												●
内部監査員養成セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	第3回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/21											
14	第4回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/14										
15	第5回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/9									
16	第6回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/8								
17	第7回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/20							
18	第8回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/17						
19	第9回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							●					
20	第10回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000								●				
21	第11回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000									●			
22	第12回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										●		
23	第13回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											●	
24	第14回 ISO/IEC 17025:2017 ラボラトリーのための内部監査員養成ミニセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												●
マネジメントセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25	第1回 オンラインで学ぶトータル・リスク・マネジメントセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000		5/18										
26	第2回 オンラインで学ぶトータル・リスク・マネジメントセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000				8/23								
27	第3回 オンラインで学ぶトータル・リスク・マネジメントセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000								11/15				
28	第4回 オンラインで学ぶトータル・リスク・マネジメントセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000											2/21	
29	第1回 オンラインで学ぶラボラトリーのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/19										
30	第2回 オンラインで学ぶラボラトリーのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				8/24								
31	第3回 オンラインで学ぶラボラトリーのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							11/16					
32	第4回 オンラインで学ぶラボラトリーのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/22	
33	第1回 オンラインで学ぶ標準化(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/29									
34	第2回 オンラインで学ぶ標準化(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											1/25	
食品、微生物分野セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
35	オンラインセミナー:第1回 食品・理化学試験バリデーションと不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000			6/16									
36	オンラインセミナー:第2回 食品・理化学試験バリデーションと不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000							10/13					
37	オンラインセミナー:第1回 微生物試験バリデーションと不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000				7/13								
38	オンラインセミナー:第2回 微生物試験バリデーションと不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000											1/18	
臨床検査分野セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
39	第1回 ISO 15189 規格解説セミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000		5/27										
40	第1回 臨床検査室のための内部監査員養成セミナー 基礎編	オンライン	¥33,000	¥66,000			6/23									
41	オンラインセミナー:第1回 臨床検査の不確かさの基本(ISO15189対応)	オンライン	¥33,000	¥66,000								11/30				
42	第2回 臨床検査室で役に立つ標準作業書作成セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/15								
43	第3回 臨床検査室で役に立つ標準作業書作成セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000									12/15			
44	第1回 問題解決のための効果的な是正処置と運用セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					9/22							
45	第2回 問題解決のための効果的な是正処置と運用セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												2/9
46	第2回 ゼロから学ぶ臨床検査の統計学 基礎編(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/14					
47	第3回 ゼロから学ぶ臨床検査の統計学 基礎編(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/23
試験技術セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
48	第1回 その測定数値、自信をもって説明できますか?	オンライン	¥33,000	¥66,000			6/21									
49	第2回 その測定数値、自信をもって説明できますか?	オンライン	¥33,000	¥66,000									12/6			
50	第2回 ラボラトリーマネジメントのためのISO/IEC 17025(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				8/18								
51	第3回 ラボラトリーマネジメントのためのISO/IEC 17025(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											1/19	
52	第2回 フレキシブル認定(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/31										
53	第3回 フレキシブル認定(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000								11/5				
54	第1回 オンラインで学ぶゲルマニウム検出器によるガンマ線スペクトロメトリ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/24									
55	第2回 オンラインで学ぶゲルマニウム検出器によるガンマ線スペクトロメトリ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											1/17	
プチセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
56	第1回 オンラインで学ぶ初めてのISO(2時間)	オンライン	¥11,000	¥22,000	4/22											
57	第2回 オンラインで学ぶ初めてのISO(2時間)	オンライン	¥11,000	¥22,000							10/28					
58	第1回 オンラインで学ぶ適合性評価とファンクショナル・アプローチ(2時間)	オンライン	¥11,000	¥22,000		5/28										
59	第2回 オンラインで学ぶ適合性評価とファンクショナル・アプローチ(2時間)	オンライン	¥11,000	¥22,000									12/10			
60	第1回 オンラインで学ぶISOによる製品認証と認証スキーム(2時間)	オンライン	¥11,000	¥22,000						9/15						
61	第2回 オンラインで学ぶISOによる製品認証と認証スキーム(2時間)	オンライン	¥11,000	¥22,000												3/11
プレミアムセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
62	第1回 オンラインで学ぶ試験所経営セミナー(4時間)	オンライン	¥44,000	¥88,000						9/10						
63	第2回 オンラインで学ぶ試験所経営セミナー(4時間)	オンライン	¥44,000	¥88,000												3/25

事務局だより

✿ 2021年度のセミナー予定につきまして

2021年度のRMAセミナー（対面型、オンライン）の予定を掲載しました。

RMAウェブサイトのトップページ(<http://rma.tokyo>)にも掲載しておりますのでぜひご覧ください。
追加や変更がある場合はウェブサイトでお知らせします。

✿ COVID-19(新型コロナウイルス)の感染予防対策につきまして

- 2021年度も対面型セミナーを開催する際、RMAでは以下の通り感染予防対策を実施しております。
 - ・セミナーで使用いたします備品はアルコール消毒いたします。
 - ・受講いただく皆様へ受付で、体温測定をさせていただきます。37.5℃以上の体温のある方はセミナーへのご参加をご遠慮いただきます。また、除菌スプレーまたは除菌シートでの消毒にもご協力いただきます。
 - ・極力距離を開けてご着席いただきます。
 - ・セミナー中、窓及び扉を開け換気をいたします。
 - ・職員はマスクまたはマウスシールドを着用させていただきます。
- セミナーをご受講いただく皆様へのお願い
 - ・セミナー受講の際には手洗い・うがい・マスクの着用等にご協力いただけますようお願い致します。
 - ・当日、少しでも体調のすぐれない場合は受講をお控えください。その際、事務局までご一報をお願い致します。

編集 後記

2021年度は大幅にオンラインによるセミナーを増加しました。従来の対面型セミナーと併せてご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症予防の関係で、テレワークやオンラインでライブを観たり、習い事、おしゃべりや飲み会をされている方が多いのではないかと思います。そんな時急に画像が止まったり、音声途切れてしまったりすることはありませんか？

今回のRMA Plusでは、ネット環境に関する話題を掲載しております。どうぞご参考になさってみてください。

事務局 編集担当 中澤

セミナーのお申し込みは開催日の約3か月前から可能です。

お申し込みお待ちしております！



発行：一般社団法人 RMA

東京都品川区西五反田1丁目11-1

アイオス五反田駅前 502号

☎ 03-6417-3400

✉ jimukyoku@rma.tokyo

<http://rma.tokyo>